

NEW STYLE ONE MAKE RALLY



# Vitz challenge

Round 2 in 高山



## RALLY DATA

TRDヴィッツチャレンジ  
Round 2 in 高山

- 主催 松本カースポーツクラブ (MCSC)
- 開催日 2010年6月6日 (日)
- 開催エリア 岐阜県内
- スタート会場 丹生川文化ホール
- サービスパーク 丹生川文化ホール
- ゴール会場 丹生川文化ホール
- セクション数 2
- SS本数 6本
- SSTータル距離 16.4km
- 総走行距離 約130km
- 参加台数 36台  
Class 1 7台  
Class 2 7台  
Class 3 7台  
Class 4 13台  
Class 5 2台
- 完走台数 34台 (リタイア2台)
- 取材媒体 株式会社 三栄書房  
WRCプラス

### 晴天と新緑の飛騨高山

## 全日本ラリーコースで ヴィッツチャレンジャーも好戦!!

2010年6月6日(日)、大雪のRd.1から約1ヶ月半のインターバルを経て、『TRDヴィッツチャレンジ Round 2 in 高山』が開催された。

本ラウンドは、毎年この地で開催される全日本ラリー選手権「MCSCハイランドマスターズ」でも使用されるラリーコースが一部使用されることもあり、人気の高い1戦だ。

スタート地点となる高山市丹生川町「丹生川文化ホール」には、36台のエントラントが全国各地から集結。色とりどりのカラーリングをした車両で賑わいをみせる。

天気はまるで初夏を思わせるようなすがすがしい好天に恵まれ、エントラントたちは最高のコースコンディションでコンペティションをスタートすることができた。



スポンサーのぼりやテントなどで飾られたスタート会場は、前を通る国道からも目を引いていた。





今年の高山ラウンドも、グラベルとターマックの様々な林道コースを組み合わせた設定で開催されました。

なかでも、2車線高速の大規模林道や、約5kmに渡ったシリーズ最長となる林道コースは、参加者にもギャラリーにも大変好評なイベントとなります。

1500ccのクラス1・クラス2ではそれぞれ7台、1000cc車両のクラス3には7台、クラス4は13台と、今大会最多の参加台数がスタート。

また、クラス5にはトヨタ東京大学校と新潟大学のエントリーがあり、両校の熱い戦いが期待される。

SSで使用されるコースは、ほぼ昨年と同様になるが、コース設定(SS順)に若干の変更が施された。

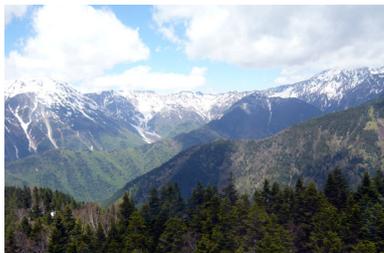
”ターマック”と”グラベル”の走り比べが「鍵」となった高山イベント。これもまた、多くの参加者が”高山”を好む理由の一つになる。



クラス5には、新潟大学とトヨタ自動車大学校から2台のエントリー。今後も多くの学校からの参戦を期待したい。



観光地ということもあり、店や土産ののぼりなどが数多く見受けられた。リエゾンとしてその土地をのんびりと走ることも、ラリーの楽しみのひとつ。



高山ラウンドは穂高連峰のふもととなる場所で、ラリー当日も実にすがすがしい天気となった。



SSの設営をするオフィシャル。ラリーを安全に滞りなく進められるのも、影ながらの力があってこそだ。



ギャラリーは、ダム湖のほとりを囲むグラベルSSを観戦。60秒間隔で次々とスタートするヴィッツラリーカーたちを小高い丘の上から見守りつつ、思い思いに楽しんでいる様子だった。



全てのスケジュールをこなしたヴィッツラリーカーは、続々とゴール会場に到着。残念ながら2台のリタイヤ車両が出たが、エントラントの的確な行動とオフィシャルの素早い対処により、怪我等はなく競技も最小限のロスタイムでSSも継続され、競技も無事成立となった。

リタイヤも果敢に挑んだ結果であるから、これを糧にして今後もヴィッツチャレンジでたくさんの経験を積み、楽しくラリー競技を続けていきたいものである。



表彰式の前には、初参加選手の紹介や、ヴィッツチャレンジ参加者の中から『全日本ラリー選手権 ラリー北海道』に参加した2組からの結果報告などが行われた。増川 智/赤木弥生はJN2クラス3位入賞、鎌野賢志/竹平素信も5位という好成績であった旨が報告され、会場からは称賛の歓声が上がっていた。ヴィッツチャレンジ仕様に若干の変更を施したヴィッツで北海道でのラリーを完走できたことは、多くのヴィッツチャレンジャーはじめ、関係者にとっても勇気づけられる結果であったことだろう。



優勝	野村 長/山岸 佑也
2 位	小嵯 治男/小嵯 和女



優勝	中村 祐太/小泉 雅之
2 位	吉谷 基伸/杉谷 昇



優勝	飯野 光則/飯泉 修一
2 位	毛受 広子/平石 康仁



優勝	村木 佐千子/佐々木 康行
2 位	西能 徹/波田 隆志
2 位	走出 芽美/萌抜 浩史



優勝	新潟大学 (近藤 優作/鶴巻 駿介)
----	-----------------------

主 幹：TRDヴィッツチャレンジ事務局（株式会社プロクルーズ内）

次回『TRDヴィッツチャレンジ Round 3 in 中部』は、2010年7月18日(日)愛知県幡豆町周辺にて開催いたします。